

成果報告書の要約

助成番号	146-1号
助成研究名	乳幼児連れの機能分散トイレ利用を促す案内誘導サインと設備に関する研究
助成期間	2023年 4月 ~ 2024年 3月
所属	奈良女子大学大学院人間文化総合科学研究科住環境学専攻
氏名	重久 絢音

キーワード	乳幼児連れ、トイレの利用分散、トイレの機能分散、案内誘導、乳幼児対応設備
研究目的	鉄道駅での乳幼児対応設備と案内誘導の整備状況を把握し、乳幼児連れの一般トイレ利用を促す設備配置と案内誘導を明らかにすることを目的とする。
研究手順	<ol style="list-style-type: none">① 鉄道駅の乳幼児対応設備・案内誘導の整備状況を把握するために、鉄道会社に対してヒアリング調査を行う。② 利用される案内誘導と案内誘導の効果を明らかにするため、子育て未経験者を対象に移動調査を行う。③ 子育て経験者の利用するトイレと案内誘導を明らかにするために、子育て経験者にヒアリング調査と半構造化インタビューを行う。④ ①～③をもとに、乳幼児連れの一般トイレ利用促進に有効な設備配置と案内誘導を検討する。

研究成果

本研究で取り扱う乳幼児対応設備と案内誘導を表1に示す。

① 鉄道駅の乳幼児対応設備・案内誘導の整備状況

鉄道駅での乳幼児対応設備と案内誘導の整備状況を把握するため、鉄道会社2社にヒアリング調査を行う。既存駅ではトイレエリアの拡大が困難であるため、現状のトイレエリア内（一般女性・男性トイレ/バリアフリートイレがまとめて設置される場所のこと）での機能分散が進みつつあること、一般トイレ内の機能分散での設備の適切な組み合わせは十分意識されていないこと、トイレブース数を減らせない現状では広めトイレの数増加は難しく他の乳幼児対応設備に比べて整備が遅れやすいことが把握できた。2社ともにトイレ前に触地図とピクトグラム、個室ブース前にピクトグラムを設置し、具体設備の案内を行う。しかし、ベビーカーの大きさにより必要な空間が異なるため、必ず利用できるかどうか確約できないとの理由から、広めトイレであってもベビーカー利用可能を示す案内誘導の設置を現状行っていない。ベビー用品を扱う Blossom39 から抽出した海外製を含むベビーカー21種のサイズと国土交通省が推奨する「ベビーカーとともに入れる広さ」個室ブース寸法を比較すると、海外製の大きめベビーカーでも、国土交通省推奨寸法の個室ブースに入ることができる。そのため、国土交通省推奨寸法を満たす場合は、ベビーカー利用可能な案内を行っても問題がない可能性が高い。

② 案内誘導有無によるベビーカー利用時のトイレ選択行動（子育て未経験者実験）

ベビーカー利用時のトイレ選択行動調査をトイレエリア内で行った。一般トイレとバリアフリートイレ（以下、BFトイレ）選択の際、23人中3人が、ピクトグラムによる案内誘導がないトイレに対して「ピクトグラムがなくて狭いかもと思い、BFトイレを選択した。」とコメントする。一般トイレ前に案内誘導がある場合は一般トイレが、案内誘導がない場合はBFトイレが選択された。加えて、案内誘導設置により迷い行動が減少することが確認できた。

一般トイレ内の広めトイレブースを選択するまでの様子を観察する。広めトイレが奥にある場合と手前にある場合の2つのタイプのトイレで、案内誘導有無の条件を変えて行動調査を行うと、「案内有・手前の広めトイレ」が迷い行動等が発生しづらく、最もスムーズにトイレ選択できる環境といえる。「案内無・手前広めトイレ」と「案内有・奥の広めトイレ」での移動体験をした人の評価は、「案内無・手前広めトイレ」が利用しやすいが過半数を占め、「広めトイレの案内誘導がある」ことを理由に挙げる。広めトイレが奥の見えづらい位置に配置しなければならない場合でも、案内誘導を設置することで使いやすく感じる人を増やすことが可能である。

③ 子育て経験者の利用するトイレと案内誘導の実態

乳幼児連れを対象に実際のお出かけ時に利用するトイレ・案内誘導についてヒアリング調査を行う。オムツ替え時の利用トイレ(図1)は、一般トイレ内が6割と多い。広さを求める人はBFトイレを、広さを重視せず設備のみあれば良い人は一般トイレを利用する。「個室外ベビーベッドはプライバシーが考慮されてない」と感じる母親がいる一方で、「個室の中だと気が散ってしまう」「個室の中は汚い気がする」と子供の気が散らないようにするためと清潔さを求めて個室外ベビーベッドを利用する人もいる。親の排泄時の利用トイレ(図2)は一般トイレが8割程度と、オムツ替えよりも一般トイレ利用者が増える。親の排泄時には、ベビーカーチェアを求める人と広さを求める人の人数に大差なく、両者を求める人もいる。設備と広さを兼ね備えた「ベビーカーチェアがある広めトイレ」が乳幼児連れのニーズを幅広く満たす可能性がある。

研究成果
(続き)

④ 結論

鉄道駅ではトイレエリア内で機能分散を行うため、トイレ前と一般トイレ内での案内誘導が特に重要となる。トイレ前での具体設備の案内誘導により一般トイレへの利用を促すことができる。一般トイレ内個室ブース前で具体設備の案内を行うことで、奥に設備ありトイレを設置したとしても使いやすさは保たれる。

表 1 取り扱う乳幼児対応設備と案内誘導

乳幼児対応設備			
ベビーチェア	ベビーベッド	フィッティングボード	広めトイレ
			
案内誘導			
トイレ前触地図		トイレ前ピクトグラム	
			
個室ブース前ピクトグラム			
			

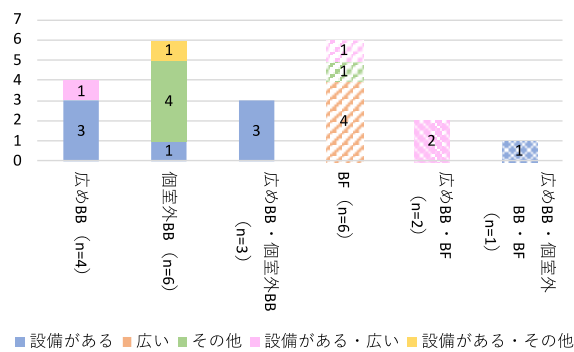


図 1 乳幼児連れがオムツ替え時に利用するトイレ

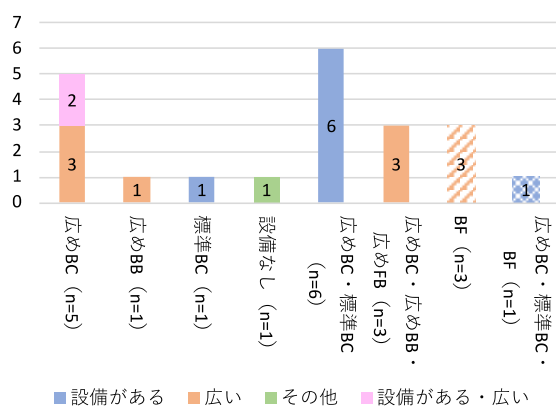


図 2 乳幼児連れが親の排泄時に利用するトイレ